

**令和5年度  
全国学力・学習状況調査  
学校の調査結果**



**令和5年12月  
海老名市立上星小学校**

令和5年度

# 全国学力・学習状況調査について

## 調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

## 調査内容

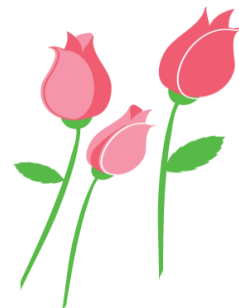
- (1)教科に関する調査【国語、算数・数学、英語(中学校3学年のみ)】  
出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。
  - ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
  - ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。
- (2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

## 調査実施日

令和5年4月18日(火)

※児童生徒質問紙調査(一部)について、児童生徒が活用するICT端末等を用いたオンライン方式により実施



# 小学校 国語

## 出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・情報と情報との関係を捉えたり、グラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したりすることができるかどうかをみる。
- ・目的に応じて必要な情報を見付けたり、情報を関係付けて整理したりして、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。
- ・話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

## 本校の調査結果

### ◆比較的できている点

- 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見つけることができている。
- 情報と情報との関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使うことができている。

### ◆課題のある点

- 複数の資料を読み解きながら、内容を理解することはできるものの、その資料の内容をもとに自分の考えをもち、説明する文章を書くことに課題が見られます。
- 説明文や主張文など、様々な文章の種類とその特徴について理解することに課題が見られます。

## 今後の具体的な指導改善のポイント

- 自分の考えを順序だてて書くことができるように、根拠や理由を示しながら書いたり話したりする学習活動を多く取り入れます。
- 主張する文章や説明する文章など、文章の種類と特徴について考えられるように工夫していきます。

# 小学校 算数

## 出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・日常生活の場面の数量の関係に着目し、伴って変わる二つの数量の関係について考察できるかどうかをみる。
- ・基本的な図形の内容や直線の位置関係について理解し、図形を構成する要素などに着目して図形の性質や図形の計量について考察できるかどうかをみる。
- ・数量の関係に着目して問題場面を解釈し数学的に表現・処理したり、計算に関して成り立つ性質を基に計算の仕方を考えたりすることができるかどうかをみる。
- ・日常生活の問題を解決するために、目的に応じて、表やグラフからデータの特徴や傾向を捉えることができるかどうかをみる。

## 本校の調査結果

### ◆比較的できている点

- 伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができている。
- 日常生活の事象を数理的に捉え、式に表現して処理したり、計算に関して成り立つ性質を活用したりして、計算を工夫することができている。
- 目的に応じて、表やグラフからデータの特徴や傾向を捉えることができている。

### ◆課題のある点

- 示された割合から、基準量を具体的に決めて、それに対する比較量を捉えることに課題が見られます。
- 図形を構成する要素とその関係に着目し、図形を弁別することに課題が見られます。

## 今後の具体的な指導改善のポイント

- 児童の興味・関心や問題意識に基づき、学習問題を設定し、目的に応じてデータを収集し、表やグラフに表したり読んだりすることや、割合などで表されたデータの特徴を理解できるように指導します。
- 図形の学習では、問題場面を具体的にイメージできるよう、具体物や図などを用いて考える学習活動を取り入れます。

# 児童質問紙

## 学習について

### ◆本校のよかったところ

- 「話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」「立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を活かして自分の考えをまとめている」と回答した児童の割合が、全国平均を上回っています。協働的な学習の方法を理解し、そのよさを感じながら学んでいます。
- 国語・算数において「勉強が好き」「勉強したことは、将来に役立つ」と回答した児童の割合は、全国平均を上回っています。興味・関心をもち、意欲的に学習に取り組んでいることが分かります。
- 「英語の勉強は好き」「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思う」と答えた児童の割合が全国平均を大きく上回っています。英語や外国の文化への理解が深まっているとともに、英語でコミュニケーションをとることの楽しさを感じています。

### ◆本校の課題と思われるところ

- 「家で自分で計画を立てて勉強している」と回答した児童の割合が、全国平均よりやや下回っています。

## 生活について

### ◆本校のよかったところ

- 約93%の児童が「人が困っているときは、進んで助けている」と、約96%の児童が「人の役に立つ人間になりたいと思う」と、約85%の児童が「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」と回答しています。他者に対する思いやりの心を持っていること、公共の精神が育っていることが分かります。
- 「朝食を毎朝食べている」「毎日、同じくらいの時刻に寝ている、起きている」と答えた児童の割合が全国平均を上回っており、規則正しい生活を心がけている児童が多いです。

### ◆本校の課題と思われるところ

- 授業におけるタブレット端末の活用頻度は全国平均に比べて多く、多くの児童がICTの有用性を感じているものの、学校の授業以外でのタブレット端末の活用頻度は、全国平均と比べるとやや少ないです。

## 今後の具体的な取組について

- 子どもが自ら課題をもち、計画・見通しを立てて、主体的に学習できるような指導を行っていきます。また、家庭で学習に計画的に取り組めるように支援方法を工夫してまいります。
- タブレット端末の積極的な活用を推進し、学びの充実を図ります。今後は端末を自宅に持ち帰っての活用をさらに進めていきます。また、安全に活用するために、情報モラル教育のさらなる充実を図ってまいります。



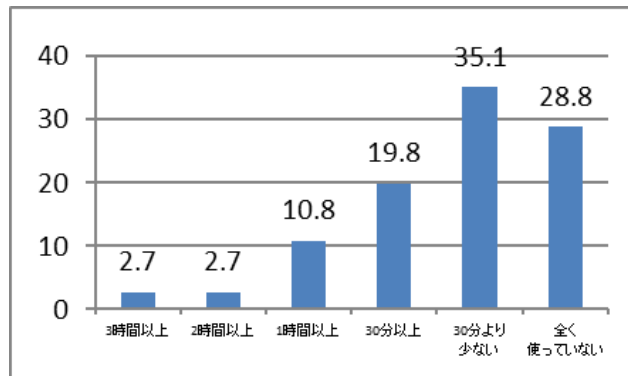
# ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

1

## 今後、家庭でのタブレット端末の使用をさらに進めます。ご家族でICTの使い方について話してみましょ。

主体的な学びのためにICTは有効なツールですので、活用をさらに進めます。しかし、「安全に使うこと」が大切です。ご家庭でも使い方や情報モラルについて話し合ってみましょ。

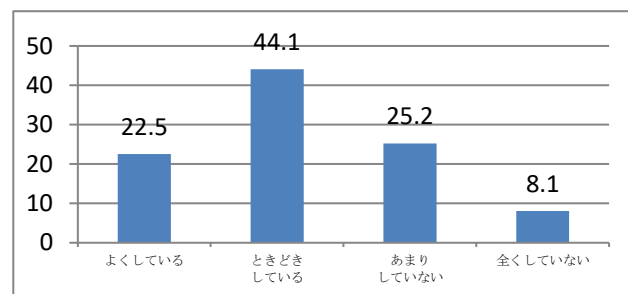


学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか

2

## 学習の計画を立てて、勉強しましょう。

自分に必要な内容を考え、学習に取り組むよう、お声かけをお願いします。自分で選択して学ぶことにより、意欲が高まります。また、自ら考え判断する力が高まります。

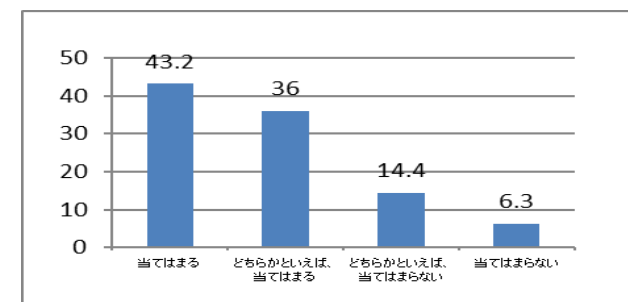


家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか

3

## 家族で団らんやふれあう時間をとりましょ。

他者の考えや気持ちを知り、他者の意見について考えることは、自分の考えをよりよいものにするために大切なことです。食事やテレビを見ている時間など、何気ない時の会話が、自然と意見の交流になるのではないのでしょうか。

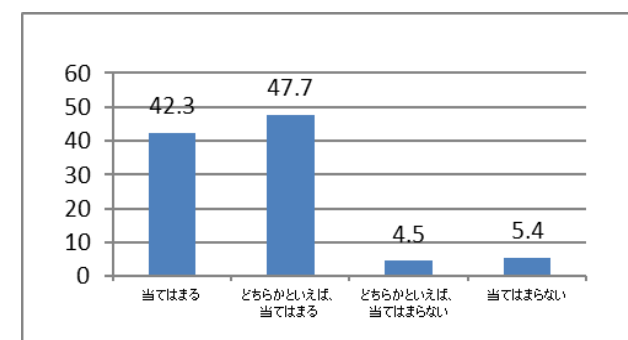


自分と違う意見について考えるのは楽しいと思えますか

4

## 子どものよさ、がんばったことを認め、褒めましょ。

褒められることで、子どもたちは、何事にも前向きに取り組むための自信がつけます。子どもの次への挑戦を後押ししましょう。



自分には、よいところがあると思えますか

## 文部科学省における学習指導の改善・充実に向けての主な取組

### 1. 学習指導要領の着実な実施

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- 指導改善に資する情報提供等(国立教育政策研究所)

### 2. 英語の学習指導の改善・充実

- 海外の学校等との国際交流や協働的な学習の推進
- 科学技術人材の育成

### 3. GIGA スクール構想の更なる取組の推進

- 国費による学校 DX 戦略アドバイザーの派遣等による支援
- 切れ目のない研修コンテンツの提供

### 4. 児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組の推進

- 道徳教育や特別活動、体験活動、生徒指導など学校教育活動全体を通じて児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組を推進

### 5. 学校における指導・運営体制の充実

- 小学校における35人学級の計画的整備や高学年教科担任制の推進等のための教職員定数の改善
- 教員業務支援員や学習指導員等の支援スタッフの充実

### 6. 調査結果を活用した追加分析等

- 令和5年度調査の結果を活用した追加分析
- 個票データ等の貸与

## 海老名市における学習指導の改善・充実に向けての主な取組



**多様性を受け止め、多様性を生かし、  
えびなっ子ひとりひとりの  
学びを保障する教育をめざします**



### 3つの重点

- ①授業改善の実践 ②教育支援体制の充実 ③特色ある学校づくりの推進

#### ①授業改善の実践

- 「主体的・対話的で深い学び」を追求し、授業改善を継続します
- 今日的な教育課題であるプログラミング教育、外国語教育、キャリア教育などを実践します
- 学校ICTを有効に活用します
- 市教育委員会として、実践のために必要な学校へのサポートを行います(予算確保や環境整備、教職員向けの研修など)

【市の結果についての問い合わせ先】  
電話 046-235-4919  
海老名市教育委員会教育支援課 指導係